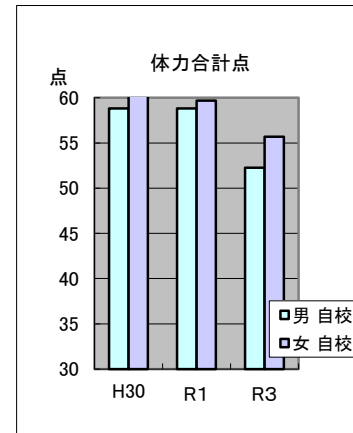
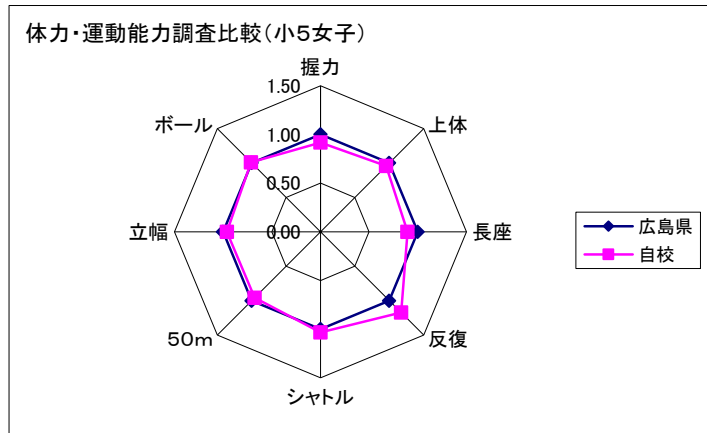
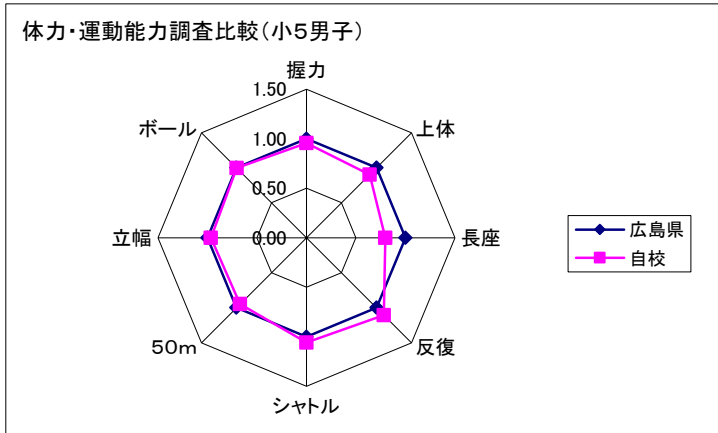


男子の体力合計点 学校 52.25点 県平均 55.16点

女子の体力合計点 学校 55.69点 県平均 57.06点



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 全国平均値(令和2年度)との比較から男子は4学年,女子は全学年下回った。コロナ禍で外に遊びに行く児童が減ったため,走る力が下がっていると考え。

②握力(中学校区の課題種目)
 1年生は全国平均値(令和2年度)を上回ったが,2・5年生は男女共に下回った。今までの結果と比較しても大きく下がっている。(5年生の結果のみ比較)
 アスレチックで遊ぶ児童も減ったことや,体育授業の際にサーキットトレーニングを行う時間が減ったことが原因であると考えられる。

③立ち幅跳び(自校の課題種目)
 全国平均値(令和2年度)との比較から男子は4学年,女子は全学年下回った。今までの本校の結果と比較しても大きく下がっている。(5年生の記録のみ比較)
 体育の時間の運動量の確保不足や,コロナ禍で外に遊びに行く児童が減ったため,走る力が下がっていると考え。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・体力の低下が見られるので年間を通して,体育の授業の準備運動の中で三分間走等の走る時間を設ける。 ・「くれ・チャレンジ・マッチスタジアム」のダッシュリレーを継続的に行う。 ・引き続き体育手帳を活用し,自分の走力に目標を持って50m走が出来るようにする。
②中学校区の課題種目 (握力)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中連携の中で導入部分の授業改善を行う。(体づくり運動の工夫) ・体育の授業の中でグッパ法や,アスレチックを使ったサーキットトレーニングを行うようにする。
③自校の課題種目 (立ち幅跳び)	具体的な取組内容 ・タブレットで自分の跳ぶ姿を記録しながら自身の改善点を見つけられるようにする。 ・動画でコツを見せながらリズムよく跳べるよう支援を行う。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)